

# 台湾の小学校における「芸術と人文」 教育課程の実践調査 その2 — 蘆洲小学校の例 —

上原 一明・陳 盈君\*・福田 隆眞

A Research on the Implementation “Art and Humanities” Curriculum  
in Elementary School in Taiwan Part 2  
- A case of Lujhou elementary school -

UEHARA Kazuaki, Chen Yiong-chug\* and FUKUDA Takamasa  
(Received August 6, 2009)

キーワード：台湾、小学校、芸術と人文、美術教育、教育課程

## はじめに

本稿はその1に引き続き台湾の蘆洲小学校における「芸術と人文」の教育課程の年間指導計画内容の第5学年、第6学年について紹介し、その1、その2のまとめを記す<sup>1)</sup>。

## 4. 第5学年 前期 芸術と人文領域課程計画

ここでは「芸術と人文」の年間計画第5学年の内容を前期、後期に分けて紹介する。

(1) 本領域は毎週3時間学習する。

(2) 本学期学習目標：

視覚芸術：

- ① 日常生活における手の芸術表現の重要性、並びに手による創作の芸術表現。
- ② 人形劇芸術活動と人形劇の創作を学習することができる。
- ③ 台湾早期芸術家の創作美を理解し、撮影記録の利用により郷里の美的創作を助長する。
- ④ 自然に親しみ、環境の中に隠れた芸術の美を運用し、自分の育った場所を愛することができる。

音楽：

- ① 台湾本土の歌謡を歌うことができる。
- ② 各種異なる歌い方を試み、想像力を刺激する。

パフォーマンス・アート：

---

\*台湾・台北県立蘆洲小学校教諭

- ① 台湾の人形劇を知り、その操作方法と演出方式を学習する。
- ② 音楽、道具、造形、身体動作を組み合わせ、大きなリズムを表現する。

(3) 本学期課程構成図：

単元名称	課名
1、手の魔力	私をよく見て 手によるトリック ドンジャンやろう！ 指でダンス 芝居の開演
2、故郷の気持ち	故郷を語り、故郷を描く 我らの故郷、我らの歌 華やかなる京劇
3、麗しのフォルモサ	大海と共にダンス 海よ！ふるさと 土手の宝探し 環境を考え、芸術を感じる

(4) 本学期課程内容

第1単元 手の魔力

第1～7週

- ① 私をよく見て（活動1）観察と鑑賞。（活動2）抽象線と創作。  
（活動3）手の表情。（活動4）手の姿態。
- ② 手によるトリック（活動1）理解と観察。（活動2）人形のデザイン。  
（活動3）人形の制作。
- ③ ドンジャンやろう！（活動1）孔子廟を散歩。（活動2）リズムを叩く。  
（活動3）歌曲を歌おう。（活動4）連結線とスラーを知る。
- ④ 指でダンス（活動1）音楽鑑賞。（活動2）歌曲を歌おう。  
（活動3）F大調と降記号。
- ⑤ 芝居の開演（活動1）活動の準備。（活動2）正式な上演。

第2単元 故郷の心情

第8～14週

- ① 故郷を語り、故郷を描く（活動1）人文についての導入。（活動2）鑑賞。（活動3）カメラを知る。（活動4）美しい故郷を描く。（活動5）故郷の素描「田園の美」
- ② 我らの故郷、我らの歌（活動1）台湾本土の歌謡を知る。（活動2）音楽鑑賞。  
（活動3）五声音階を知る。
- ③ 華やかなる京劇（活動1）鑑賞。（活動2）討論と観察。（活動3）格好を真似る。  
（活動4）討論と思考。

第3単元 麗しのフォルモサ

第15～20週

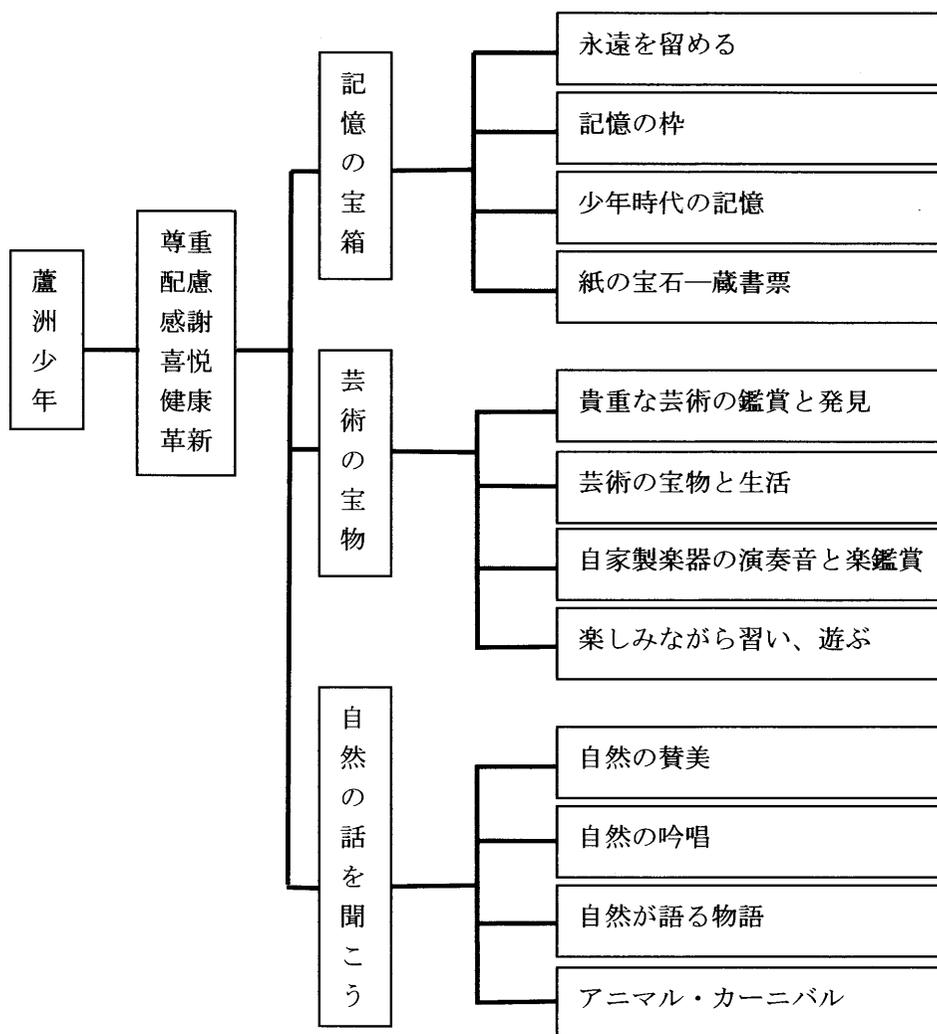
- ① 大海と共にダンス（活動1）海について。（活動2）演舞と鑑賞。

- ② 海よ！ふるさと（活動1）音楽会を聴こう。（活動2）歌を歌う。  
（活動3）歌の練習と縦笛の演奏。（活動4）リズム・ゲーム。  
（活動5）楽しいクリスマス。
- ④ 土手の宝探し（活動1）材料探し。（活動2）創作活動。  
（活動3）ビンの中の手紙。
- ⑤ 環境を考え、芸術を感じる（活動1）廃品利用。（活動2）ポスター制作。  
（活動3）創意工夫大会。（活動4）蚤の市。

## 第5学年 後期 芸術と人文領域課程計画

- (1) 本領域は毎週3時間、合計60時間学習する。
- (2) 本学期学習目標
  - ① 各種材料と方法を用いて、玩具の補修や改造ができる。
  - ② 自分の好きな役に扮し、ゲームのストーリーを作成することができる。
  - ③ ブラームスと呂泉生の生涯を知る。
  - ④ 楽譜を見ながら68拍子及び演奏、68拍子の曲調を知る。
  - ⑤ 「固定唱名」と「首調唱名」の楽譜を見て歌うことと書くことができる。
  - ⑥ 様々な角度から異なる時代の芸術の風格を味わい、思考し理解をすることができる。
  - ⑦ インターネットやメディアを利用し、美術館や博物館のコレクションを鑑賞し、文化情報の取得ができる。
  - ⑧ 中国と欧米の絵画の表現形式と美感を体験し知ることができる。
  - ⑨ 生活の中の各種芸術品の体現と応用を発見することができる。
  - ⑩ シューベルトの生涯を知り、ピアノ五重奏曲「鱒」第四楽章を鑑賞することができる。
  - ⑪ 三度音程を知り、縦笛で三度音程を演奏することができる。
  - ⑫ 絵本の制作の要素と方法を理解できる。
  - ⑬ 縦笛で一、二部曲調を演奏し、カスタネットや木魚で叩くことができる。

(3) 本領域本学課程構成図



(4) 本学課程内容

第1単元 記憶の宝箱

- 第1～2週 楽しい少年時代、演じてみよう（活動1）子どもの頃の遊び。永遠を留める、記憶の枠（活動1）古い写真を使った導入。（活動2）カメラを知る。  
 （活動3）練習と学習。（活動4）実践と応用。  
 （活動5）鑑賞と討論。（活動6）創作— 写真立てはどうやって作るの？
- 第3週 少年時代の思い出Ⅰ（活動1）子守唄。（活動2）発声練習。  
 （活動3）中国と西洋の子守唄。（活動4）創作身体リズムと練習。  
 （活動5）紙の宝石— 蔵書票 鑑賞と制作。
- 第4週 少年時代の思い出Ⅱ（活動1）「捉泥鰌（ドジョウ取り）」を歌う。（活動2）C、G、F大調の復習。（活動3）縦笛による「捉泥鰌」の演奏。  
 （活動4）単音を聞いて、楽譜に書く。

- 第5週 少年時代の思い出Ⅱ (活動1)「魔法使いの弟子」の引導。(活動2)映画鑑賞と討論。(活動3)台北県芸術祭国際蔵書票コンペ参加。
- 第6週 少年時代の思い出Ⅱ (活動1)想像と創作—「夢は叶う」の舞台。(活動2)「夢は叶う」を演じる。(活動3)意見交換と討論。

### 第2単元 芸術の宝物

- 第7週 宝物発見。(活動1)導入。(活動2)鑑賞学習。(活動3)コレクションを知る。(活動4)文化情報の取得。(活動5)経験の意見交換Ⅰ。  
芸術の宝物と生活(活動1)動機の引導。(活動2)経験の意見交換Ⅱ。(活動3)実践と応用。(活動4)展示と鑑賞。
- 第8～9週 芸術の宝物と生活(活動1)「芸術」という貴重な宝物を捉える。(活動2)ジャンク音楽(ストンプ)を打ち鳴らせ～簡単な楽器を作る。
- 第10週 音楽の美を静かに鑑賞Ⅰ(活動1)詩の紹介。(活動2)「野ばら」を歌う。(活動3)活動の展開—歌のリズム・リレー。(活動4)バイオリンの仲間を知る。(活動5)ジャンク音楽コンテストの練習。
- 第11週 音楽の美を静かに鑑賞Ⅱ(活動1)中国の芸術歌曲の紹介。(活動2)「西風の話」を歌う。(活動3)縦笛演奏の練習。(活動4)強弱記号を知る。(活動5)縦笛の演奏 縦笛の指使法を復習し、上達するまで練習する。
- 第12週 楽しみながら習い、遊ぶ(活動1)「アート・フェスティバル」の紹介。(活動2)思考と討論。(活動3)母の日の歌。
- 第13週 楽しみながら習い、遊ぶ(活動1)思考の導入。(活動2)開放と多元的舞台形式。(活動3)野外における即興演出。

### 第3単元 自然の話进行こう

- 第14週 自然の賛美(活動1)動機の引起。(活動2)発表と討論。(活動3)実際にやってみよう。
- 第15週 自然が語る物語(活動1)活動の準備。(活動2)活動の導入—鑑賞。(活動3)筆触の紹介：細部の表現の強調。(活動4)精密画の創作。
- 第16週 自然が語る物語(活動1)活動の導入—観察と想像。(活動2)描画—細密画の創作。(活動3)細密画絵本の創作—構想とストーリーを話す。(活動4)〈細部表現の強調〉筆触の紹介。(活動5)紙の上の演出—教師の作品を見せて、みんなで鑑賞する。
- 第17週 自然の吟唱(活動1)「跟著溪水唱」を歌う。(活動2)歌曲を歌う。(活動3)「かたつむりとウグイス」を歌う。(活動4)学生の歌詞に対する感想を導入する。(活動5)歌曲を歌う。(活動6)身体による創作。(活動7)役を演じる。
- 第18週 自然の吟唱(活動1)「森へ行こう」を歌う。(活動2)曲調の練習。(活動3)縦笛の演奏。(活動4)楽器による合唱の導入。(活動5)歌曲を歌う—音楽でイメージを捉える。(活動6)二胡の紹介。(活動7)脳を働かせよう—学生に弦楽器について教える。
- 第19週 アニマル・カーニバル(活動1)課題の準備。(活動2)ビデオ鑑賞。(活動3)声と身体動作の創作。(発展学習)—縦笛演奏の創作。

第20週 アニマル・カーニバル（活動1）導入。（活動2）練習と実演。

## 5. 第6学年 前期 芸術と人文領域課程計画

ここでは「芸術と人文」の年間計画第6学年の内容を前期、後期に分けて紹介する。

(1) 本領域は毎週3時間

(2) 本学期学習目標

- ① 台湾とオーストラリアの先住民族の芸術、点描画家スーラ、星座画家ミロ、抽象画家モンドリアンの作品鑑賞を通し、生活における芸術作品の点、線、面の発見や、点、線、面等基本要素を活用し創作する。
- ② 観察及び演出、創作、演奏活動に参加することによる舞台裏の体験を通して、役者や演出家による創作の辛苦を知り尊重する心と芸術鑑賞の礼儀を養う。
- ③ 演劇演出の重要な要素を理解する。
- ④ 中国や西洋の建築、彫刻、壁画など造形と芸術の特色を探求し、本校110周年記念活動の芸文創作に反映させる。
- ⑤ 宗教を題材にした芸術創作の表現形式を探求し、多元文化の学習を進める。
- ⑥ 中国と西洋の楽器及び発声法を認識させる。
- ⑦ 異なる手製の本の表現方式の鑑賞、並びに生活体験の表現方法を探する。
- ⑧ 台詞や歌のある舞台芸術演技中の「台詞」「学」「笑い」「歌」の鑑賞学習、並びに脚本の作り方や演出の進行を試みる。

(3) 本学期課程内容

### 単元1 視覚芸術 点・線・面

第1週 主題1：芸術 点・線・面

(活動1) 原始的な芸術。

第2～3週 (活動2) 巨匠による傑作の秘密。

第4週 (活動3) 取ったり付いたり切り張りのプロ。

### 単元2 音楽芸術 点・線・面

第5～6週 (活動1) フォルモサの音楽。(活動2) 音の肖像に大挑戦。

(活動3) 音楽理論の補給場。(活動4) 魔笛の時間。

### 単元3 舞台芸術 点・線・面

第7週 (活動1) みんなで劇を見よう。

第8週 (活動2) これが愛の演劇。

### 単元1 中国・西洋の視覚芸術

第9～10週 主題2：中国・西洋の芸術

(活動1) 超比べっこ。(活動2) 多様に富んだ台湾伝統建築。

(活動3) 芸術家 vs 宗教芸術。

### 単元2 中国・西洋の音楽芸術

第11～12週 (活動1) 音楽で世界一周。(活動2) 珍しい楽器の仲間。

(活動3) 式典音楽大集合。

### 単元3 中国・西洋の舞台芸術

第13～14週（活動1）演劇の多様性。

### 単元1 私の芸術手帳

第15～16週 主題3：芸術が語る物語

（活動1）写真を使って自分について書く。（活動2）私の手作りの本。

### 単元2 音楽の中の物語

第17週 （活動1）音楽の中の物語。

第18週 （活動2）メジャーとマイナー。

### 単元3 物語を吟じる

第19週 （活動1）すごい！説唱を学ぼう。

第20週 （活動2）私達のクラスの説唱。

## 第6学年 後期 芸術と人文領域課程計画

- (1) 本領域は毎週3時間学習する。
- (2) 本学期学習目標
  - ① 芸術家の肖像画を鑑賞することができる。
  - ② 様々な鉛筆と描き方、筆触で描くことができる。
  - ③ 蔵書票の運用と制作ができる。
  - ④ 教師、クラスメート、学校の共通の思い出を共有することができる。
  - ⑤ 歌曲「愛の意味」「愛と希望」「サンタマリア」「鳳陽花鼓」「夏夜郷居」を歌える。
  - ⑥ 縦笛で中音ドから高音ラまで吹き、関連曲目を演奏することができる。
  - ⑦ クラスメートの未来の状況を話し合い、将来の自分がどのような生涯を送るか考える。
  - ⑧ 生活と芸術の関係を理解する。
  - ⑨ 様々な芸術施設の成立した背景とコレクションの特色を理解することができる。
  - ⑩ 日用品を利用して楽器を作り、創作演奏や合奏をすることができる。
  - ⑪ 反復記号、速度記号、変奏曲を知ることができる。
  - ⑫ 作曲家・ショパン、チャイコフスキー、モーツァルトを知ることができる。
  - ⑬ 音楽鑑賞会の礼儀や正しいレジャー活動を育成することができる。
  - ⑭ 子供劇の演出類型を理解することができる。
  - ⑮ 多様な観察方法により既成概念を改変し、生活の中のものを観察する。
  - ⑯ 様々な民族の舞曲の鑑賞し見分ける。
  - ⑰ 日常生活の詳細な観察力並びにアイディア転化に関する点を育成する。

(3) 本学期課程構想図

単元名称	課名
1、ここにあなたがいる	あなたを留める 私の幸せをコピー あなたの愛に感謝 懐かしさと展望
2、芸術はあなたのすぐそばにある	視覚芸術と生活 様々な芸術施設 音楽と生活 舞台芸術と生活
3、いろんな芸術「視」界	生活 新「視」界 音楽 新「視」界 舞台 新「視」界

(4) 本学期課程内容

第1単元 ここにあなたがいる

- 第1週 あなたを留める（活動1）導入。（活動2）紹介と説明。（活動3）観察と素描。（活動4）実践と意見交換。
- 第2週 私の幸せをコピー（活動1）導入。（活動2）説明と鑑賞。（活動3）実制作。（活動4）作品鑑賞。
- 第3週 あなたの愛に感謝（導入）回想。（活動1）愛の意味。（活動2）魔笛。
- 第4週 あなたの愛に感謝（活動1）反復記号。（活動2）「愛と希望」。（活動3）「別れの曲」。
- 第5週 懐かしさと展望（導入）六年来の思い出。（準備運動）宇宙遊泳（活動）私について来て。
- 第6週 懐かしさと展望（活動1）本音で受け応える：私の話を聞いて！（活動2）模擬演技—あなたが遭遇する未来。（演出）やってみよう！（総合討論）教師導入。

第2単元 芸術はあなたのすぐそばにある

- 第7週 視覚芸術と生活  
（活動1）導入。（活動2）探索と鑑賞。（活動3）理解と意見交換。（活動4）制作。
- 第8週 様々な芸術施設（活動1）導入。（活動2）探索活動。（活動3）芸術と素材。（活動4）芸術家の美術館。（活動5）美術館。
- 第9週 音楽と生活（引導）学生の意見を聞く。（活動1）音楽生活。（活動2）「サンタマリア」。（活動3）響けジャンク音楽。
- 第10週 音楽と生活（活動1）「鳳陽花鼓」。（活動2）3度と6度和声。（活動3）瑤族舞曲。（活動4）ジャンク音楽コンテストの準備。
- 第11週 舞台芸術と生活（活動1）導入と探索。（活動2）小さな子供劇場。探索と創作。（活動3）理解と鑑賞。（活動4）ジャンク音楽コンテスト。
- 第12週 舞台芸術と生活（活動1）探索と討論。（活動2）創作と鑑賞。

(活動3) 討論と創作。

第3単元 いろんな芸術「視」界

第13週 生活 新「視」界

(活動1) 観察と探索。(活動2) 実践と運用。(活動3) 発表と討論。

第14週 生活 新「視」界 (活動1) 準備活動。(活動2) 実作と創作。

第15週 音楽 新「視」界 (導入) 「くるみ割り人形」〈小序曲〉を聴く。

(活動1) 「くるみ割り人形」。(活動2) 「魔笛」(活動3) 速さと遅さ。

第16週 音楽 新「視」界 (活動1) 変奏曲。(活動2) 変身、変身、変身。

(活動3) 「夏夜郷居」

第17週 舞台 新「視」界 (活動1) 探索と鑑賞。(活動2) 真似っこ。

(活動3) 幻想ブラックライト劇。

第18週 舞台 新「視」界 (活動1) 成りきり劇場。(活動2) 創作。

## 6. まとめ

以上は台北蘆洲小学校の2008年度(民国97年度)の芸術と人文の教育課程の内容である。筆者が実際に授業見学をすることが出来たのは、第6学年前期の第9、10週の中国・西洋の視覚芸術であった。美術作品の鑑賞と宗教音楽の鑑賞を融合させて、生徒に意見をたくさん述べさせる児童中心型の授業であった。美術の教員と音楽の教員の共同による教材作成がなされていた。そして児童は活発に意見を述べ、試行錯誤を繰り返して学習の目標に到達していた。

前述までの年間指導計画を俯瞰すると、教育内容が具体的で、詳細に計画されている。そしてそのほとんどを実践している。

こうした状況に対して、蘆洲小学校の全体的な見解は以下である。(2008年12月調査)

昨年、蘆洲市教育委員会の指導主事が転勤して来て、「芸術と人文」の教育を重視している。教育課程作成については専門教員として音楽4名、美術3名が当り、時間、領域と能力の目標、活動内容、使用教材、評価方法などを綿密に計画して実践している。内容は美術、音楽、表演に分かれているが、題材によっては複合的に扱っている場合もある。この学習を実践することによって、教員間の意見交換、討論が増え共通理解が進んだ。児童はこの学習によって意見発表が増え、主体的、創造的になってきた。

また、同じく「芸術と人文」に関して台北教育大学林曼麗教授(前故宮博物院長)は、教員養成、美術教育、教育政策の立場から、以下のような見解を示された。(2008年12月台北教育大学での福田の調査)

「芸術と人文」の授業によって子どもの創造性を育むことを目的としている。新たに何かを生み出すために美術の分野だけでなく音楽や演劇や映像なども含めて創造活動をすることが大切だと考えている。そういう意味で「芸術と人文」の授業をするのは大変ではあるが、子どもたちが芸術に親しんで鑑賞と創作の意欲が湧いて芸術の理解をすることが期待される。また、台湾の伝統も踏まえて新しいものを創造していく人間が育つことも期待されている。

さらに、大学における美術教育の対場として、林平(台湾東海大学美術系)によれば、「芸術と人文の理念はよく分かるが、授業を実践するには美術と音楽の教員が協力態勢を

とる必要がある。創造性の育成をするには芸術と人文は大切である。そのための問題を解決していかななくてはいけない」と話された。(2009年7月台湾での福田の調査)

以上のように、本研究は台湾における小学校での実践の調査と「芸術と人文」に対する状況についての実際的な見解を記した。2008年の調査では蘆洲小学校の他に高雄の新民小学校での調査を実施したが、「芸術と人文」の実践は統合的な扱いではなかった。

「芸術と人文」の授業実践については、教育内容の検討、教員の協力、教材開発などの様々な問題を解決する必要がある。これらの問題の整理と解決策の実践については次回の調査の課題とする。

## 注

- 1) 本研究は、平成20年度文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(C)一般 課題番号20530826 「アジア地域における美術教育課程の実質化調査研究」によって実施した。